

保護者各位

令和5年度 学校評価調査集計結果の概要について

柏市立光ヶ丘小学校

校長 荻村 竜一

今年度も本学校評価調査を含めて、本校の教育活動に御協力賜り、誠にありがとうございます。学校教育目標「学習意欲を持ち、思いやりのある、たくましいひかりっ子の育成」の実現に向け、教育活動を行ってまいりました。今年度は継続をテーマとして教育活動を行い、できることは何かを考えながら、新しいことにもチャレンジいたしました。

つきましては、12月下旬より調査しておりました学校評価の結果についてお知らせいたします。昨年の結果と比較しましたところ13項目のうち12項目が向上しました。教職員は、この結果を受けて来年度の教育にどのように活かしていくか検討を進めてまいります。今後も、「児童の学び」を学習指導要領の内容と児童の実態に合わせながら作り上げてまいります。御理解と御協力をお願いいたします。

1 回答について

保護者 回答数 323 (回答率46%)

児童 回答数 842 (回答率92%)

教職員 回答数 38 (回答率90%)

2 学校の取り組みについて

学校は情報や学校の様子をわかりやすく伝えている



学校は児童の安全に対して積極的に取り組んでいる



学校は子どもが理解しやすいように授業を行っている



学校はいじめを許さず仲良く過ごせる環境作りをしている



学校は子ども達が意欲的に運動に取り組めるように努力している



学校は子ども達が地域の関わりを大切にした学習をしている



【概要】

児童の回答は、どの項目をみても、肯定的な回答が90%程度の回答となります。項目3「授業がわかりやすい」という調査項目については、それぞれの結果は、高い傾向が見られました。

しかしながら、「安全な環境作り」の面では、児童、保護者、教職員の回答が全て減少しました。児童の安全面の確保が課題となりました。南柏駅に通じた通学路の交通量、正門前の横断歩道、狭い歩道、昇降口の狭さなど、窮屈な一面が児童の危険とつながっております。施設面、登下校の指導は、柏市との連携を仰ぎながら進めてまいりましたが、児童の交通意識を高めるために学習指導や生活指導を関連付けながら指導を進めていく必要があると一層感じる結果となりました。

【取り組み① ひかり学園の取り組み】

コミュニティスクール「ひかり学園構想」の初年度となりました。「地域で子ども達の成長を見守る」「9年間で児童生徒の成長を考える」ということから目標を「夢・志を持ち、地域に貢献できる自立した児童・生徒の育成」とし進めてまいりました。今年度は、まず「できることから」始めるということでパラリンピック選手を呼んで、光中の体育館で講話を行いました。小学校はその映像を体育館に放映し、質問などつながることができました。地域にある人的資源を有効活用し、児童の成長を支えていこうと検討しております。項目6「地域行事等に積極的に関わる教育活動」を向上させる糸口になると考えております。2年生では、近隣の鉄塔見学を実施しました。今後も地域と学校をつなぐため積極的に学習に取り組めるようにしてまいります。

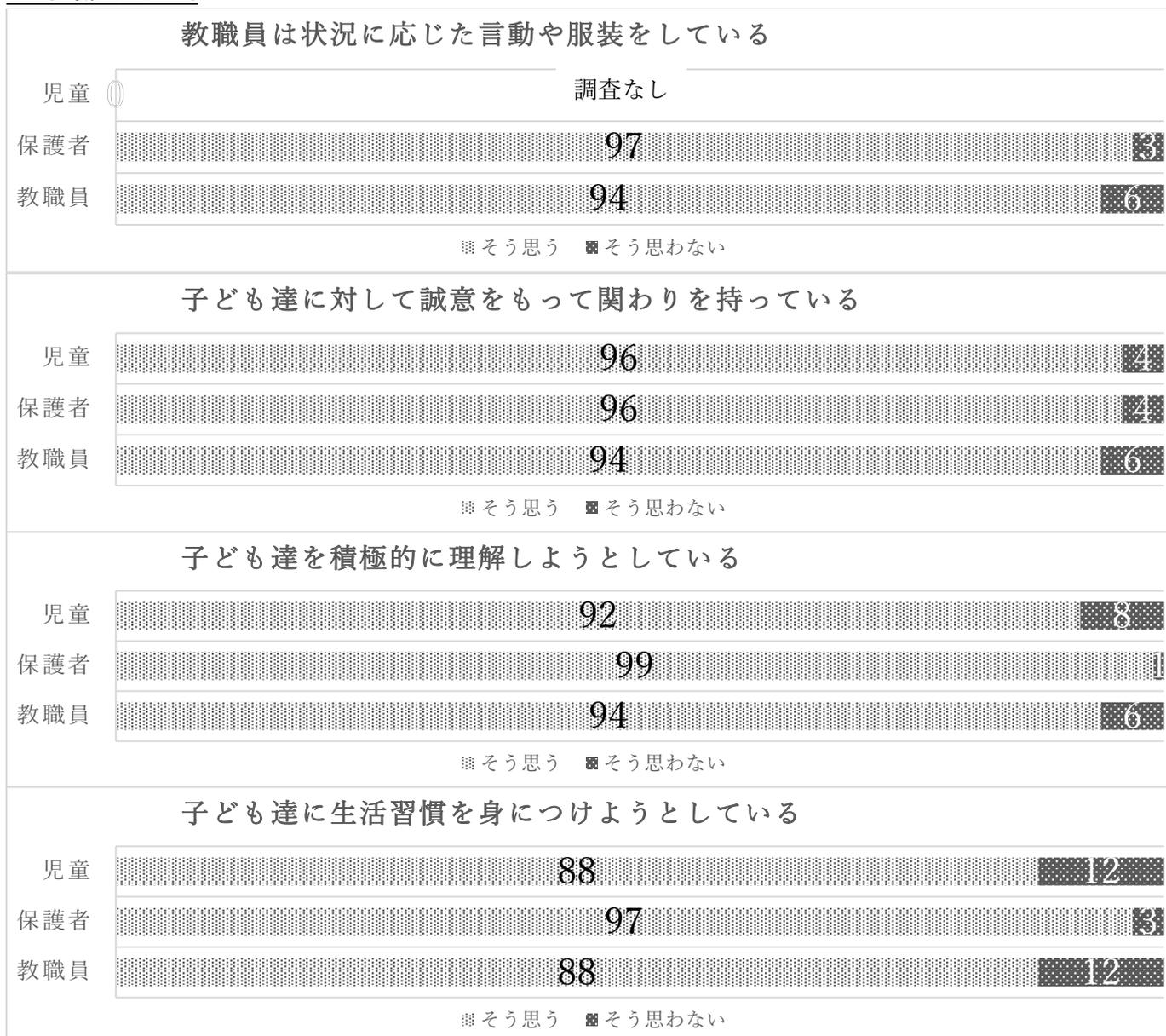
【取り組み② いつでも授業参観】

昨年度は、「いつでも授業参観」を実施しました。しかし、保護者の方の来校は特に増加しなかったこともあり、授業参観の実施方法を変更し、各学期に2日間いつでも授業参観として実施しました。実施に関して全曜日にもたがるように設定しました。多くの方に参観いただきました。今後も、保護者がいつでも気軽に学校へと足を運ぶ学校となるためにはどのようにすればよいか、考えて進めてまいります。

【取り組み③ 校庭の使用割り当て】

昨年度より引き続き、休み時間、校庭で遊べる学年の割り振りを行いました。児童の怪我の発生は低い状況です。コロナ禍を経て、児童の遊び方などは変容し、関わることによる児童同士のトラブルなどは増えたと感じています。今年度は、教室での遊び方を子ども達に提案しました。クラスでは、カードゲーム遊びに白熱し、楽しんでいる様子も見られました。また週2回の清掃についても、学校をきれいにするために子どもと先生で力を合わせ、一所懸命に床を磨き、隅々まで掃きとり、素晴らしい姿へとつながりました。

3 教職員について



【概要】

どの調査も9割程度と高いものとなりました。自由記述には、クラス担任の指導に感謝する言葉が多く見られました。

【取り組み① HPの更新】

今年度も、HPを毎日更新しました。今後も情報を保護者の方々につかんでもらうために、改善検討を進めてまいります。児童は、課題解決に向けて、足を運んだり、情報手段を意図的・計画的に用いたり、他者とのコミュニケーションを通したりしながら、情報を集めるようにして学習を進めております。教職員も、学習において児童に情報を収集、整理・分析、精査しながら解決につなげていくことを日々指導しております。

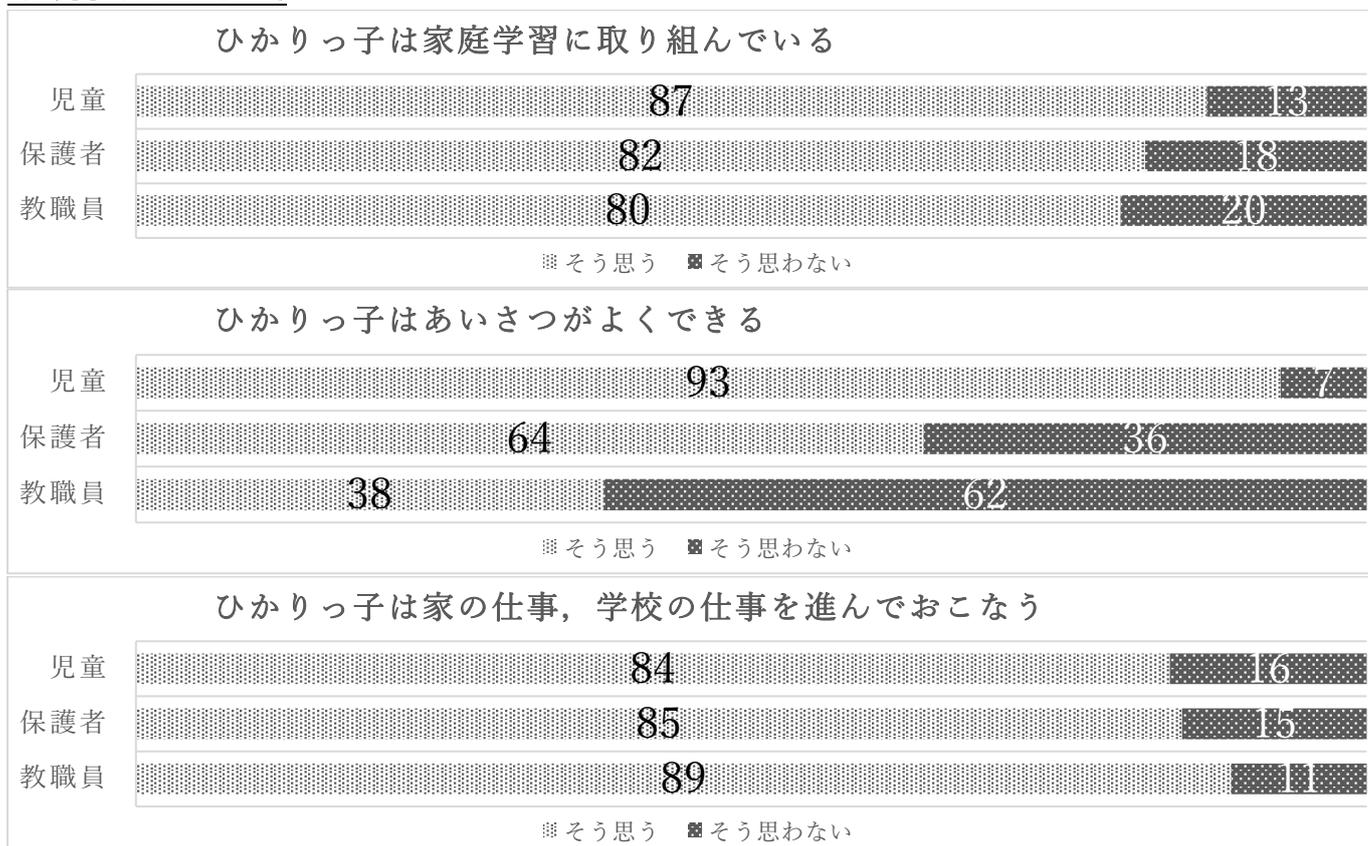
【取り組み② 教育相談窓口の設置やいじめアンケートの定期的実施】

いじめの早期発見のため、児童の聞き取りを定期的の実施しました。また、その都度面談をしてきました。学校におけるいじめの認知件数は、年々増加しており、組織対応を第一に行っております。今後も県や柏市、光小のいじめ基本方針のもと、いじめに対する教職員の研修をすすめ、未然防止の取り組み、早期発見、早期対応で取り組みます。そして「いじめの許されない」という強い意識を持って指導にあたります。

【取り組み③ 対面式の全校朝会実施】

今年度は、対面式の全校朝会を各月で行いました。その結果、校長先生の話、生徒指導の話、校歌斉唱すべてが良い影響となって表れたと感じています。異学年の様子が見え、6年生のすごさや低学年の一生懸命さが直接肌で感じられる経験となりました。引き続き、継続し児童同士の関係づくりが見える形を継続しながら行ってまいります。

4 光小の児童について



【概要】

児童の肯定的な回答は高い傾向にあります。しかしながら、児童の主体性に関わる項目です。児童に対して、教職員や保護者の皆様の回答状況は、大変低い傾向が見られました。保護者の皆様の「あいさつ」に関する調査項目は、昨年より向上しておりますが、教職員一同「児童のあいさつについて」は課題を感じております。今後もどのようにすれば挨拶のできる光ヶ丘小学校となるのか、考えて教育活動を実施していきます。

【取り組み① 児童の学ぶ姿勢づくり】

柏市の推進する学びに「学び続ける習慣」があります。今年度の教職員研修として、学習法についての研修がありました。その中で、どのように児童に課題を持たせるかということが内容としてございました。その問いの答えは、まだまだわからない状況です。しかし、各学級では、光小のカリキュラムに基づいた国語や社会、算数など多くの教科実践の中で、児童が意欲を高める方法を創意工夫しながら、学習を進めました。

「学校や家庭で学ぶ意義はなにか」という問いに全ての児童、保護者、教職員が向き合い、日々の学習と結びつけていくことによって毎日の学びが大切であると実感できるよう1年間の約1000時間の授業を進めてまいります。

5 自由記述について

ご回答ありがとうございました。内容としては、「指導に関すること」「教育課程に関すること」「行事に関すること」「児童の様子に関すること」「施設に関すること」等を多く頂戴しました。

中には厳しい意見もございました、多くの記述は、教職員への感謝や教育課程への感謝の気持ちでした。頂きました内容は、教職員の今後の励みとする一方、真摯に受け止め、改善していきます。

我々は教育のプロとして児童の「学び続ける力」を大切にしながら、学校教育に日々励んでおります。教育課程についても、学校教育法や学習指導要領に基づきまして実施しております。今後も限られた人的資源や物的資源を有効活用しながら、今後も児童の育成に努めてまいりますので、保護者の皆様のお力添えと御理解の程宜しく願いいたします。